

評価シート 様式

取組名	戸田オリンピックボートコースの水質浄化を目指して(池蝶貝を活用した水質浄化と淡水産真珠ブランド化の取り組み)		
実施団体名	埼玉県ボート協会	対象地域	埼玉県戸田市
(代表団体名)		推薦団体名	戸田市

① 実施 状況	提案書に記載された取組内容について、当初の計画通り実施されているか	② 実施 体制	平成20年度に行われた取組の実施体制について
	<input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組を適切に実施したと判断される。		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断される。
	<input checked="" type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部が未実施となっている。但し、予定した主要な取組は適切に実施したと判断される。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断されるものの、改善の余地が認められる。
	<input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部又は全部が未実施となっており、特に主要な取組が実施されていない。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、主体的に実施されたと判断できない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)
③ 効果	平成20年度に行われた取組の当初目標の達成状況について	④ 継続 展開 の見 込み	平成20年度に行われた取組の継続展開の見込みについて
	<input checked="" type="checkbox"/> 当初設定した目標を達成し、実施した取組が予定していた成果をあげたと認められる。		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り又は発展的に継続展開が予定され、持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。
	<input type="checkbox"/> 当初設定した目標の達成には至らないものの、実施した取組が予定していた成果の一部又は全部をあげたと認められる。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画とは一部異なるものの、取組方法の改善等により持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。
	<input type="checkbox"/> 実施した取組が当初の目標の達成に至らず、予定していた成果をあげることができなかったと認められる。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り持続的・効果的に取組が進捗するとは見込まれない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)

※①において「申請時に予定した取組とは異なる取組が行われた」場合や、③において評価シート作成時点で成果を把握できない場合など、留意事項がある場合に「備考・特記事項」欄に記載する。

評価シート 様式

取組名	戸田オリンピックボートコースの水質浄化を目指して(池蝶貝を活用した水質浄化と淡水産真珠ブランド化の取り組み)		
実施団体名	埼玉県ボート協会	対象地域	埼玉県戸田市
(代表団体名)		推薦団体名	戸田市

⑤ 総合評価	○ 複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果に関する所見
	○ 評価
	<input type="checkbox"/> ①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」の全てにおいて評価が高く、「地方の元気再生事業」の趣旨に鑑みて優れた取組であると評価できる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であると評価できる。ただし、①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」のいずれかについて改善の余地が認められる。
	<input type="checkbox"/> ①～④のうち1以上の項目で評価が低く、「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」においても特筆すべき点が認められず、「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であるとは評価できない。 (評価の考え方及び次年度以降に向けた所見)
	<p>本取組は、水質浄化という環境関連の取組と副産物である淡水真珠による地域興しの取組とが一体となった複合的な取組である点で評価できる。池蝶貝による水質浄化の取組については、既に実施済みの地域もあり、先行した取組であるとは必ずしも言えないが、里親制度の導入や淡水真珠の販売益により次代の稚貝を購入して水質浄化につなげるという仕組みは、自立的運営に資するものであり、他の地域のモデルになりうるものと考えられる。</p> <p>平成20年度の取組によって貝を活用した水域の水質浄化等が行われた結果、地域のイメージの向上と地域活性化への寄与という目的を達成できる見通しは立ったものとする。このため、H21年度からは、里親制度の取組を展開することにより、地方の元気再生事業によらずに、地域独自に本格展開が行われることを期待する。</p>